

全国町村会長就任挨拶

皆様からの御推挙によりまして、全国町村会長を務めさせていただくこととなり、身の引き締まる思いであります。

前任の山本会長さんは、6期11年務められ、卓越した手腕を発揮し町村会をリードされた大先輩であります。私も全国町村会長として、精一杯任務を果たしてまいりたいと思います。

この10年間は、町村にとって非常に厳しい時代でありました。いわゆる平成の大合併により、平成11年度には2,500を超えていた町村が、合併特例法の期限切れを迎えた現在941にまで減っています。

人口減少時代を迎え、多くの町村では少子高齢化が進み、過疎化にも拍車がかかるなど、存亡の危機を迎えているといっても過言ではありません。

政権交代により誕生した鳩山内閣は、地域のことは地域の住民が決めるとする「地域主権」を政策の大きな柱に掲げております。

国と地方との協議はすでに始まっていますが、地域主権の理念のもと、地方分権委員会勧告が国の政策にどのように反映されるか、また、国と地方の関係が今後どのように構築されるのかなど、いまだ明確ではありません。

私は、全国町村会を、この厳しい状況に対して果敢に取り組むことのできる組織として、その発信力を強め、国政においても存在感を発揮できるよう次の点に全力を注いでまいりたいと思います。

- ①自由闊達な議論による連携・強化
- ②政務調査会の機能強化による、政策提案
- ③喫緊の課題や情勢に応じ、迅速かつ柔軟に対応できる機動力

このような組織としてまいりたい。

これらのことは、全国の町村会会長の皆様に御協力いただかなければ、進めることはできません。

微力ではありますが、全力を挙げて会長職の大任を果たしてまいる考えでありますので、皆様の御理解と御支援をお願い申し上げますとともに、ご推挙いただきましたお礼を申し上げまして、会長就任の挨拶といたします。